

事務事業 No./名称	■サービス部門 都整-33 維持管理費(雨水) □支援部門				ザイムスコード及び個別事業名		
					538	維持管理費	
主管課	河川課	関連課	下水道課・総合防災課		1263	維持管理費	
分野名	下水道・河川						
目標 (目標値)	雨水排水施設の維持保全により、溢水から市民の人命や財産を守る。						
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考			
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯				
運営資源 状況	決算値	53,905千円	77,137千円		指標と評価		
	(国・県)				指標	雨水幹線の補修延長 修繕要望対応件数	
	(負担金等)				評価	○	
	(一般財源)	53,905千円	77,137千円		◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		
	人員配置数	3.4人	3.4人			目標値	実績値
	人件費	29,888千円	30,715千円		20年度	200m 200件	183m 193件
	協働の パートナー	神奈川県・横浜市	神奈川県・横浜市		21年度	200m 150件	124m 143件
事務事業 運営経費	総事業費	83,793千円	107,852千円		22年度		
	市民1人当 りの経費	474円	611円		23年度		
	対象者1人 当りの経費				最終年度 (年度)		
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名						
創意・工夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 公共下水道(雨水)事業認可区域内の雨水施設(雨水幹線・水路)の良好な維持管理を行うため、これら施設の点検・更新・修繕工事を進めるとともに、突発的・緊急的な対応や自然環境に配慮した施工方法など、実施にあたっては、よりきめ細かい配慮が求められている。 このような状況の中で、雨水施設の良好な維持管理を行うには、現状の予算や人員では厳しい状況にある。また、老朽化した雨水施設の修繕工事においても同様である。					
	創意・工夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 公共下水道(雨水)事業認可区域内の雨水排水施設の良好な維持管理や水路護岸等の崩壊等を未然に防ぐため、目視による日常のパトロールを実施し、良好な状態での施設管理に努めるとともに、水路護岸等については作業センターの協力を得ながら、良好な施設の維持管理に努めている。 また、水路補修等の施工にあたっては、自然を育み、親しまれる川づくりを考慮しながら施工している。					
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 雨水施設の修繕工事は突発的・緊急的なものが大半であるが、予算面から早急な対応が困難な場合が多々ある。 また、老朽化した雨水施設の修繕工事についても同様である。					
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 雨水施設の突発的・緊急的な対応を要する維持修繕等については、優先性を考慮するとともに、作業センターとの調整を図りながら対応していく必要がある。					
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了							
評価結果	改善の必要性	近年の都市型水害や大雨等による浸水被害や施設の老朽化等による道路陥没の状況から、水路や護岸、河床の補強及び浚渫の事業の拡充・拡大を図る。			評価結果	改善の必要性	排水施設の維持保全を計画的に推進する。
A	有				A	有	
課長名		河川課長 米木 弘行			部名・部長名		都市整備部 山内 廣行